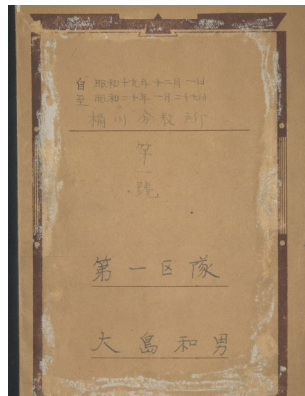
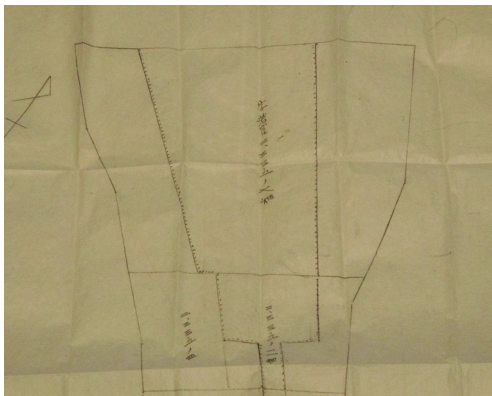


令和7年度第1回企画展示

「収集された桶川分教場の記録」

桶川飛行学校平和祈念館は、令和7年8月4日で開館から5周年を迎えます。開館以来、これまで多くの方から貴重な資料をご寄贈いただきましたが、いまだに展示できていない収蔵資料が多くあります。そこで本企画展では新たに収集した資料や証言をもとに、桶川分教場の歴史やその様子について紹介します。また、夏休み企画として、これまで子どもたちから質問の多かった項目についてお答えします。



展示期間 令和7年7月12日（土）から
令和7年9月7日（日）まで
※月曜日（祝日を除く）・7月22日（火）・7月31日（木）
8月12日（火）は休館となります。

開館時間 午前9時～午後4時30分

入館料 無料



桶川飛行学校平和祈念館
〒363-0027

埼玉県桶川市大字川田谷2335番地の16
電話：048-778-8512

Mail: hikogakko@city.okegawa.lg.jp

○電車でお越しの場合

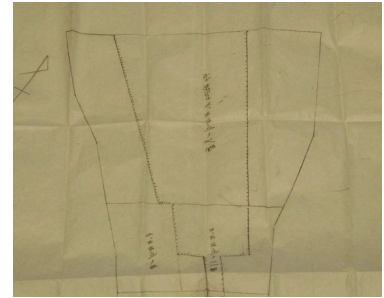
JR高崎線桶川駅西口より東武バス「川越駅行き」乗車→
「柏原」バス停下車 徒歩5分

○車でお越しの場合：桶川北本ICより車で10分
県道12号線太郎右衛門橋の側道へ入る。

I. 桶川分教場の成り立ち

桶川分教場は1937(昭和12)年に開校しますが、それ以前は地元では「すやの山」と呼ばれる、杉が鬱蒼とうっそう生おいしげ茂る場所でした。

陸軍は分教場を開設するために土地を購入しますが、開校後も複数回にわたり、土地を買い増ししていきました。



用地売買契約に関する控え

II. 桶川分教場での生活

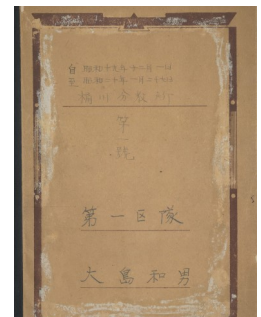
桶川分教場は基本操縦きほんそうじゅうを学ぶための学校でした。分教場では召集下士官、少年飛行兵、特別操縦見習士官みならいなど様々な生徒を受け入れていました。その中でも1941

(昭和16)年に入校した橋本久はしもときゅう氏と1944

(昭和19)年に入校した大島和男おおしまかずお氏は日々の訓練について日誌を残しています。日誌には日々の訓練について記載されていて、その詳細を知ることができます。



操縦訓練の様子



大島氏の日誌

III. 熊谷陸軍飛行学校の閉校

1945(昭和20)年2月、熊谷陸軍飛行学校は閉校となり、桶川分教場も学校としての役割を終えます。その後、施設は特攻隊の訓練施設として使われます。翌3月から沖縄戦が始まると、桶川分教場で訓練をしていた第七九振武隊しんぶも鹿児島ちらん県の知覧飛行場から沖縄へ向けて出撃していきました。



第七九振武隊員

関連企画

○職員による企画展示の解説

開催日：7月21日(月・祝)、7月26日(土)、7月27日(日)、8月30日(土)、8月31日(日)

時間：①午前11時30分より ②午後3時30分より (所要時間：各回とも約30分)

定員：各回20名(先着順)

費用：無料

申込み：開催日前日の午後5時までに電話、メールまたは直接桶川飛行学校平和祈念館窓口にて申し込み。